



大地震発生

そのときあなたは...



京都府総合防災訓練

向日市会場訓練

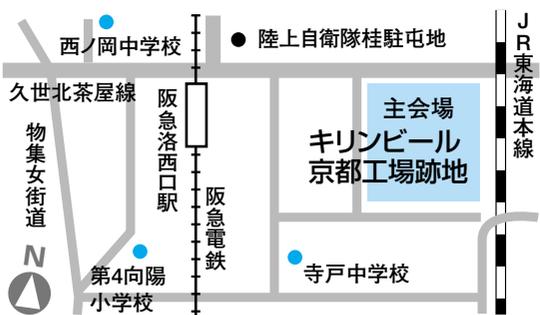
9月6日、キリンビール京都工場跡地を主会場に、京都府防災訓練を実施します。この訓練では、災害が発生したとき、円滑に防災活動が行えるように、向日市、京都府をはじめ防災関係機関と住民とが一体になって訓練を行います。地震体験コーナーや防災機器の展示などもあります。ぜひお越しください。

日時

9月6日(土) 午前7時～9時(分散会場訓練)
午前9時～11時30分(主会場訓練)

場所

(主会場)キリンビール京都工場跡地



(分散会場)向日市役所、西ノ岡中学校、寺戸中学校、第4向陽小学校

訓練想定

午前7時、西山断層を震源とするマグニチュード7.5の大地震が発生し、乙訓地域で震度5強から震度7が観測され、向日市では震度7を記録した。向日市内では、家屋の倒壊や火災が発生し、多くの死傷者が出ている。道路なども破損し、ライフライン機能がまひ状態になっている。

内容

- 現地訓練/避難訓練、医療活動訓練、輸送訓練、ライフライン復旧訓練、救出救助訓練、消火訓練など
- 展示/防災関係機関による防災資材やパネルの展示、起震車の地震体験コーナーなど

※分散会場の西ノ岡中学校、寺戸中学校、第4向陽小学校で初期消火訓練(午前7時45分)

主催/京都府防災会議、向日市防災会議、長岡京市防災会議、大山崎町防災会議

9月1日は防災の日です

8月30日～9月5日は防災週間

防災について考えてもらおうと、毎年9月1日を「防災の日」と定めています。

地震などの災害から身を守り、被害を軽減するためには、日常から災害に対して備えておかなければなりません。

阪神・淡路大震災から8年が経ち、震災直後に比べて災害に対する意識が薄れてきていませんか。

もう一度、防災対策について見直してみましょう。



できてますか 災害に対する備え

防災マップを活用して防災対策

防災マップは、向日市内の避難場所や、地震の心得、防災のチェックポイントなど、防災対策として知っておきたい情報を掲載しています。防災マップを活用して、家族で避難場所や災害時の連絡方法などを確認しておきましょう。

向日市防災マップ

※3月に各区事務所を通して全世帯に配布しました。また、転入されて来た方には、市民課窓口でお配りしています。



自主防災組織で地域を守る

大きな災害が発生したとき、同時に多数の火災や家屋の倒壊が発生すると、消防署などの活動が十分に機能しないおそれがあります。

そんなとき、地域のことを誰よりも知っている「自主防災組織」が大きな力を発揮します。

被害を最小限にするために、町内会などで「自主防災組織」を結成して、近隣で助け合える体制を整備しておきましょう。

西向日自主防災会の放水訓練



防災に関するお問い合わせ

市民安全課市民安全係(内線249、235)

生命、財産を守る初期の活動

災害でケガ人が出たり、火災が発生したとき、救急車や消防車が到着するまでの間に、応急手当や初期消火を行うことは、生命や財産を守るために私たちにできる最も重要な行動です。しかし、講習を受けるなど、ふだんから備えていないと、いざというとき何もできません。

向日消防署では、町内会などのグループを対象に、応急手当や火災予防の指導などを行っています。大切なものを災害から守るためにぜひ受講しておきましょう。



お問い合わせ
向日消防署 ☎934-0119

インターネットで情報収集

市では、ホームページを利用して、市内の避難場所など防災に関する情報をお知らせしています。

「トップページ」→「市民ガイド」→「暮らしと環境」→「万ーに備えて」とお進みください。

また、国や府のホームページでも防災に関する情報を調べることができます。



内閣府防災部門

<http://www.bousai.go.jp/>



京都府消防・防災

<http://www.pref.kyoto.jp/shobo>